

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業428社を対象に実施し、365社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成20年1月～3月の実績、平成20年4月～6月の見込み、平成20年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。□

調査時期：平成20年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	171□	85.9%
非 製 造 業	229□	194□	84.7%
計	428	365	85.3%

日銀が4月15日に公表した、北陸の金融経済月報（2008年4月）によると、北陸の景気は、「エネルギー・原材料価格高の影響などから、減速している。最終需要をみると、輸出は引続き増加傾向にあるが、設備投資は高水準の投資を継続してきたこともあって、このところ一服感が窺われる。個人消費は横這い圏内の動きとなっている。公共投資や住宅投資は前年を下回っている。□

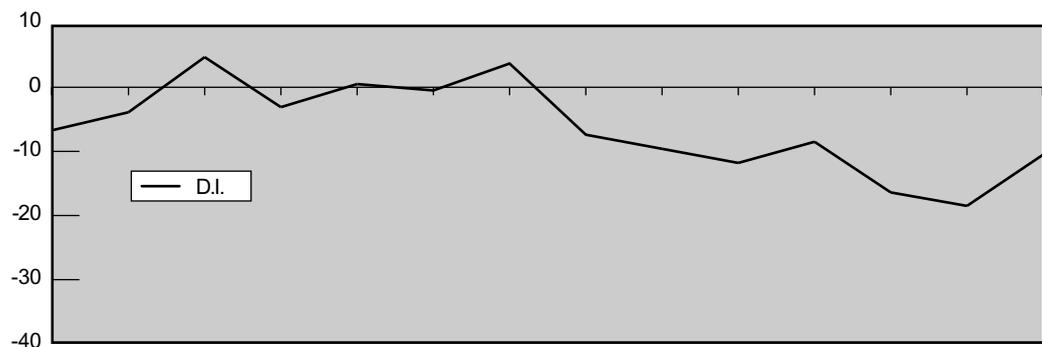
当地製造業の生産は、引続き増加している。こうした中、企業収益は、エネルギー・原材料価格高の影響などから減益となっているが、輸出の増加を背景に堅調を維持する大企業製造業と、国内需要の伸び悩みにより経営環境が厳しさを増している中小企業、非製造業との差が一段と広がりつつある」と発表している。□

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

種別	17 年			18 年			19 年			20 年				
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	6.9	9.4
普 通	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	67.8	70.8
悪 い	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	25.3	19.8
D . I .	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-18.5	-10.5

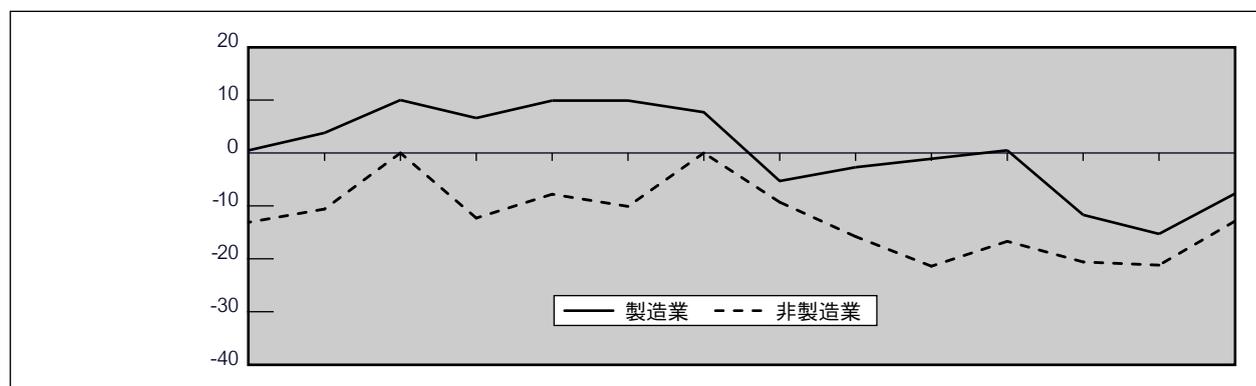


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		17年			18年				19年				20年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
		(%) 見込 予測													
良	い	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	7.1	10.7
普	通	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	70.6	71.0
悪	い	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.4	18.3
D. I.		0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-15.3	-7.7

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		17年			18年				19年				20年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
		(%) 見込 予測													
良	い	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	6.7	8.2
普	通	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	65.3	70.6
悪	い	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	28.0	21.1
D. I.		-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-21.2	-12.9



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」は、20年1～3月期実績は▲16.4と前期比7.9ポイント悪化した。先行きについて、20年4～6月期のD.I.は、前期比2.1ポイント悪化する見込となっている。しかし、7月～9月の予想では、D.I.はマイナスであるが、改善予測となっている。
- (2) 業況判断指数D.I.の20年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より12.2ポイント悪化となり、マイナスとなった。非製造業も前期より3.9ポイント悪化した。先行きについてのD.I.は全業種で、悪化見込みであり、製造業については、前期プラスポイントとなったが、再びマイナスポイントの見込みとなっている。
- 製造業の業況判断指数D.I.は、先行きの20年4～6月期見込を▲15.3と3.6ポイント悪化見込となっている。しかし、20年7～9月期をマイナスD.I.であるが改善予想をしている。非製造業の業況判断指数D.I.についても、20年4～6月期予想は▲21.2とマイナスと悪化見込であるが、20年4～6月期は改善見込になっている。